

入居者インタビュー

「“絵”から広がる出会い」・・・根道明子様(74歳)

～ 楽しいことがいっぱい、やりたいこともいっぱい ～

〈やっぱり「ここ」が一番いい！〉

50歳を過ぎた頃、同居していた両親が佐倉〈ゆうゆうの里〉へ入居。私は現役で仕事があったので、勤務地に近いケア付きマンションに入居しました。でも、仕事を辞めた後に「両親が暮らした「ここ」がやっぱりいい！」と65歳の時に入居を決め、すぐに引越してきました。介護の面では絶対的な信頼が〈ゆうゆうの里〉にあったので決めた次第です。



立ち姿勢でも描きます

〈“絵”には描く楽しみ+見てもらう楽しみがある〉



「絵画サークル」モチーフも色々

描きたい欲求は衰えるところなし。

1年に30枚を目指して描くという目標もあります。素敵な風景を見つければ描く。描いたらその光景を他の誰かにも見て欲しい。その繰り返しだけれど、それがすごく楽しいの。一緒に絵を描いて楽しくやれる場所があれば、絵を描いてみたいという入居者もあったので、職員にも相談して、絵画サークルを立ち上げました。

活動は主に火曜日です。夫々に好きな絵を描いて、皆で鑑賞し合う。そうすると、また次の絵を描きたくなる。毎回参加者も多く、和気あいあいと楽しくやっています。

〈プラス思考が大事〉



私のアトリエ♡

写真(左)は私のアトリエ(笑)。絵を描くための部屋にしています。絵を入れる額で押し入れは占領されています。私は、介護面で実証ある〈ゆうゆうの里〉を選択したけれど、『仕事をしている時には気付かなかった楽しさ』をここで発見しました。もちろん、旧友とも時々会ったりしますが、新しい友達との交流の方が今は多くなっています。絵を通じて、地元の方や入居者ほか、どんどん知り合いが増えてくるの。そんなご縁から、近所のお店に絵を飾らせてもらったこともあります。

散歩していても、「おはよう！」とか、自然と声をかけ合う環境がここにはあります。楽しみがあるから、やりたいことも次から次へとたくさん出てきて・・・結構忙しくしています。

入居を決めることは、大きな決断だと思います。でも、「ここで楽しく生活しよう！」とプラス思考で入居されれば大丈夫。私は、思い立ったあの時に〈ゆうゆうの里〉に入居しておいて、本当に良かったと思っています。

根道様の「だって、ここ〈ゆうゆうの里〉に来て怒ることがないもの！だからそれが絵に出るのかしらね！」というお言葉の通り、とっても優しい絵を描かれます(写真右)。ご自分の個展以外に、「絵画サークル展」も〈ゆうゆうの里〉ギャラリーで毎年開催されています。

根道様の作品(2点)を撮影させていただきました

